



各位

平成 24 年 10 月 30 日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役社長 佐藤 廣士
 (コード番号 5406)
 問合せ先 秘書広報部 広報担当部長 安田 幸展
 (TEL 03-5739-6010)

第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 9 月 28 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)の業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、同じく平成 24 年 9 月 28 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期通期(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	870,000	△5,000	△25,000	△50,000	△16.66
実績(B)	858,552	5,554	△11,009	△38,199	△12.72
増減額(B-A)	△11,447	10,554	13,990	11,800	
増減率(%)	△1.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	960,071	51,979	38,526	17,358	5.78

2. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,750,000	15,000	△25,000	△60,000	△19.99
今回修正予想(B)	1,710,000	15,000	△25,000	△60,000	△19.99
増減額(B-A)	△40,000	0	0	0	
増減率(%)	△2.3	0.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	1,864,691	60,555	33,780	△14,248	△4.74

3. 第 2 四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想修正の理由

前回公表した第 2 四半期連結業績予想と比較すると、売上高については、鋼材やアルミ圧延品の販売数量が想定を下回ったことなどから、減収となりました。損益については、総コストの削減が想定を上回ったことや、下落を見込んでいた鋼材販売価格の取り決めが、決着に至らなかったことから、増益となりました。

通期の業績予想については、このような状況を踏まえ、売上高を下方修正しております。一方、損益については、引き続き総コストの削減に注力するものの、第 2 四半期までに決着に至らなかった鋼材販売価格が、第 3 四半期以降に決着すると見込まれること、中国における需要環境に不透明性が増していることなどから、前回公表した予想を据え置いております。

4. 平成 25 年3月期第2四半期累計期間の個別実績

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前第2四半期実績(A)	552,205	8,700	8,953	2.97
当第2四半期実績(B)	478,314	△26,253	△39,528	△13.15
増減額(B-A)	△73,891	△34,953	△48,482	
増減率(%)	△13.4	—	—	

5. 平成 25 年3月期通期個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	1,078,684	△19,798	△30,245	△10.06
今回予想(B)	940,000	△29,000	△39,000	△12.97
増減額(B-A)	△138,684	△9,201	△8,754	
増減率(%)	△12.9	—	—	

6. 前第2四半期個別実績と当第2四半期個別実績との差異及び前期個別実績と通期個別業績予想との差異の理由

当第2四半期個別実績については、前第2四半期個別実績と比較すると、鋼材販売価格が下落したことや、鋼材及びアルミ圧延品の販売数量が減少したことなどから、減収減益となりました。

このような状況から、通期の個別業績についても、前期個別実績と比較し、減収減益となる見通しですが、関係会社からの配当金などにより、経常損失及び当期純損失の悪化幅は縮小する見込みです。

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上